

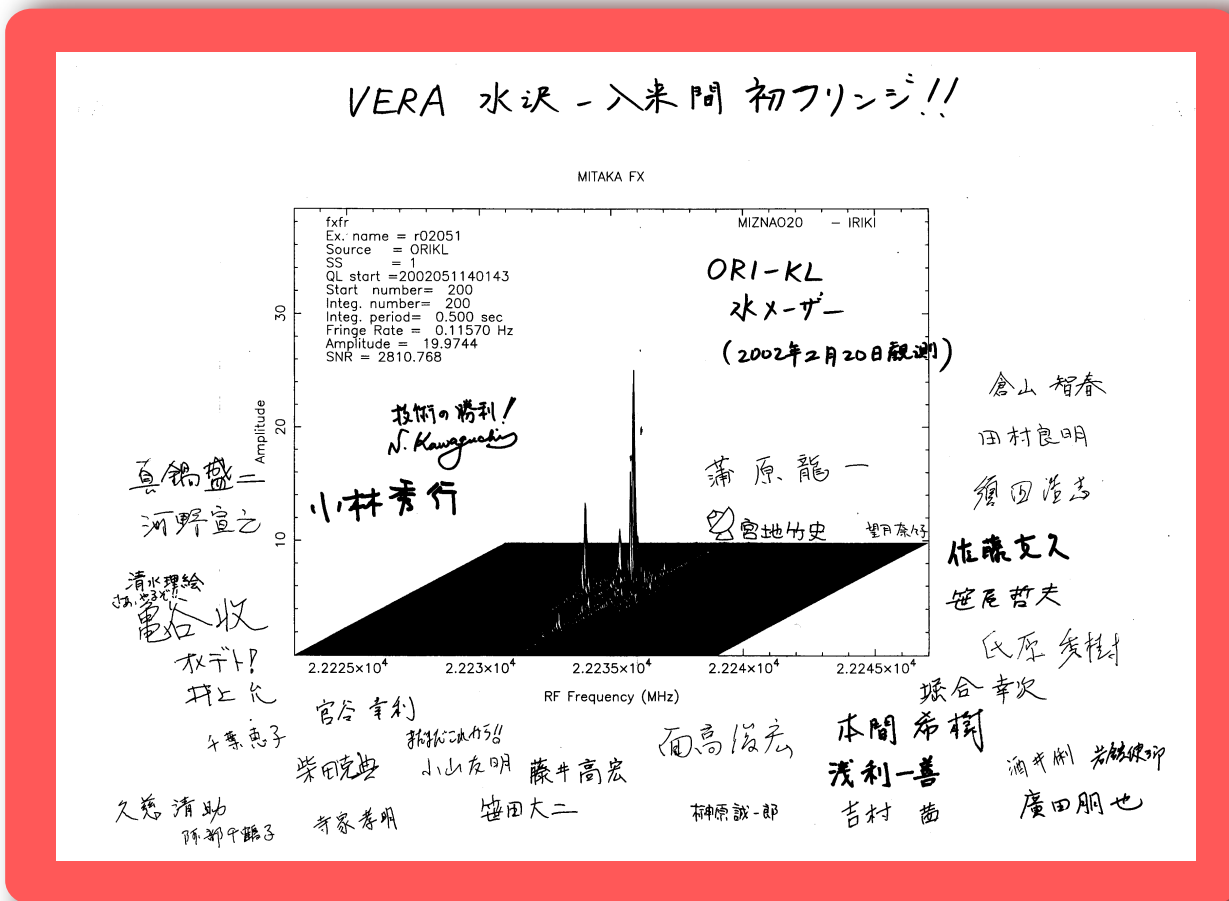


No. 14 2002年 4月18日

国立天文台VERA推進室発行  
<http://veraserver.mtk.nao.ac.jp>

# 水沢一入来間で初FRINGE

2002年2月20日にVERA水沢一入来間で初めての干渉実験が行われ、オリオン座の星形成領域ORI-KLから出る水メーザーについて、干渉縞(=FRINGE)の検出に成功しました。VERAの望遠鏡を用いた初めてのFRINGE検出で、VERAがいよいよVLBI(=超長基線干渉計)として動き出したこととなります。今回の観測では、スペースVLBI衛星「はるか」や国内VLBIネットワーク「J-Net」の観測で使用されてきた、VSOPターミナルを記録系として使用し、国立天文台三鷹にあるFX相関器で相関処理を行っています。VERA用に開発された広帯域記録系を用いてのFRINGE出しと、残る小笠原局、石垣局を含む基線でのFRINGE出しは、次のターゲットとして現在実験準備が進められています。



VERAのファーストFRINGE。中央に立っている複数のピークが、星形成領域から出るさまざまな周波数のメーザー放射に対応する。